

カナダの金融市場動向 Weekly Report

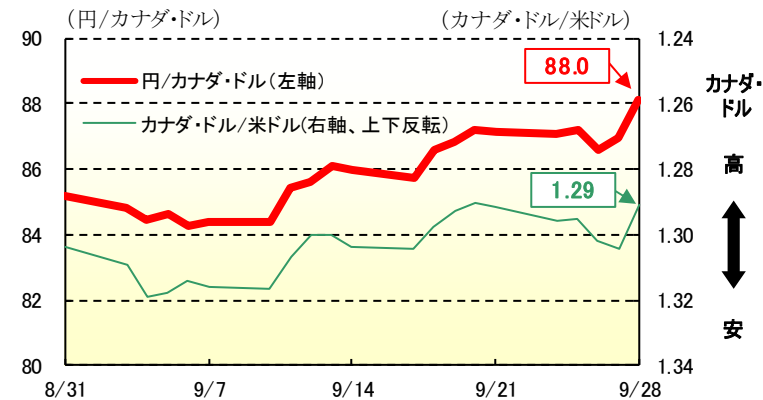
【2018年9月22日～2018年9月28日の推移】

【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドルは対円、対米ドルともに上昇しました。また、カナダ5年国債利回りはほぼ横ばいでした。

週前半は、NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉について、米国が当面の交渉期限と考えている9月末までに合意に至らないのではないかと不安を背景に、カナダ・ドルは弱含みました。週後半は一転して、NAFTA再交渉が合意に至るとの期待感が高まり、カナダ・ドルは上昇しました。また、原油価格の上昇も追い風となりました。経済指標では、7月のGDP(国内総生産)が発表されました。市場予想を上回り、カナダ経済の堅調さを確認する内容となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年8月31日～2018年9月28日)



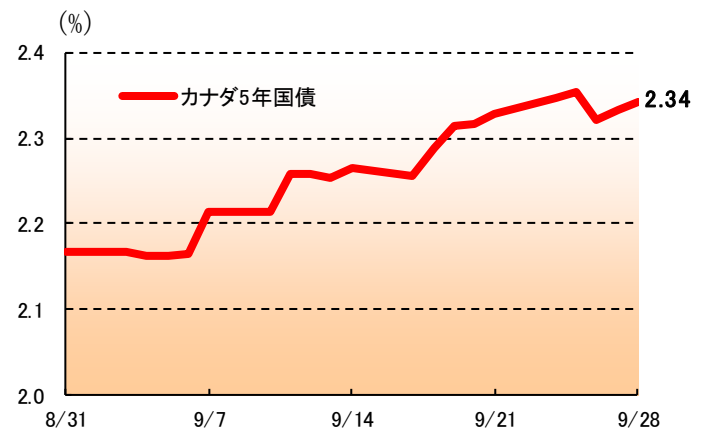
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

【2】今週の見通し

週明けの10月1日(東京時間)に、NAFTA再交渉が妥結したと報道されました。米国とカナダ、メキシコの3カ国協定の枠組みは維持され、NAFTAは新たな協定となる米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)に置き換えられます。

USMCAには米農家のカナダ乳製品市場へのアクセス拡大や自動車の原産地規則の厳格化など、米国側の意向が強く反映された内容が含まれている模様です。しかし全般として見ると、新協定に向けて合意がなされたことにより、当面の不透明感が払しょくされたことはカナダ経済およびカナダ・ドルにとって好材料だと考えています。今週は、9月の失業率が発表されます。

【カナダ 金利推移】 (2018年8月31日～2018年9月28日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>